

# 千葉市都市緑花懇談会の第2次提言(骨子)

NO. 1  
緑の保全

まちづくりのテーマ：良質な緑のある快適な都市環境の中で暮らせるまちづくりを実現する  
～ 縄文より引継がれてきた貴重な緑とまちなかの緑を次世代の子どもたちに ～

## 1 背景と役割

### (1) 緑を取り巻く背景

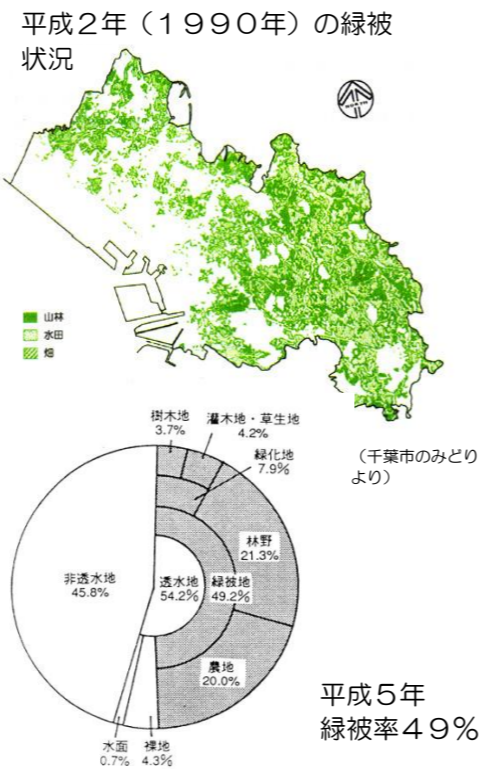
- ① 少子高齢化・社会成長の減速化など社会状況の変化
- ② 環境への関心の高まり
- ③ 都市におけるゆとりの減少
- ④ 開発や相続による緑の減少
- ⑤ 樹林地の未利用による荒廃
- ⑥ 市民ニーズの多様化
- ⑦ 協働型社会の到来

### (2) 緑の役割(必要性)

- ① 千葉市らしさ
- ② 二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化の防止  
国の目標：25%削減
- ③ 水分の蒸散作用などによるヒートアイランド現象の緩和
- ④ 水源涵養、火災の防火帯、安全な避難場所として防災上の効用
- ⑤ 人々にうるおいやすらぎを与えるレクリエーションの場の提供
- ⑥ 多種多様な生物の生息・生育場所としての機能

## 2 現状

### (1) 緑の状況



### (2) 千葉市が行っている「緑の保全」のための主な施策

- ① 特別緑地保全地区
- ② 近郊緑地保全区域
- ③ 保存樹木・保存樹林
- ④ 市民の森
- ⑤ 市民緑地
- ⑥ 街山づくりプログラム
- ⑦ 里山の保全
- ⑧ 谷津田の保全

## 3 課題

### (1) 緑地全体の課題

- ① 緑地の減少傾向
- ② 緑地の適正な管理
- ③ 緑を守り育てる人材育成

### (2) 都市緑地・特別緑地保全地区・市民の森

- ① 公有地化にお金がかかる
- ② 維持管理にもお金がかかる
- ③ 公有地化する緑地がオーソライズされていない

### (3) 市民緑地の設置

- ・街山づくり地区計画の実践
- ① 市民サイドからの設置要望が少ない(制度のPR不足等)
  - ② 官が主導し実践するには、人手と時間を要する

### (4) 保存樹林・保存樹木

- ① 土地所有者の管理費の増大及び税負担
- ② 適正な管理が求められているが十分ではない
- ③ 隣接する住民の要望対応
- ④ 容易に指定が解除できる

### (5) 里山・谷津田の保全

- ① 部局間の連携・情報提供が必要  
(農政・環境保全・公園緑地)

## 4 基本理念

首都圏の大都市一の緑豊かなまちづくりを実現する

## 5 数値目標

市域の半分以上を緑で覆われた緑被率50%以上の街づくりを実現する

緑被率 50%以上

## 6 実現のためのアクションプラン「緑の保全」と「緑化推進」

1. 緑の情報発信基地(森のセンター)の開設
2. 協働参加対象となる「身近な緑」のきめ細かな情報提供
3. 「千葉市から緑でCO2を減らそう」キャンペーンの実施
4. 「緑の診断書」を駆使した、貴重な樹林地の保全
5. さらなる財源確保と、寄附金の用途を「緑化・緑地保全」目的へ優先使用
6. 「通りごと」の街路樹の管理方針の明確化
7. ボランティアによる小中学校の校庭の芝生化
8. 全ての公共施設における緑のカーテンの実施
9. 街なかの小さな公園や公共スペースの地元管理
10. ボランティア団体に対する積極的な表彰

戦略:市民・市民団体・企業・行政の連携を強化し、協働のしくみを開発する